

撮影・政川慎治



野村

MANSUKU
NOMURA
&
MANSAI
NOMURA

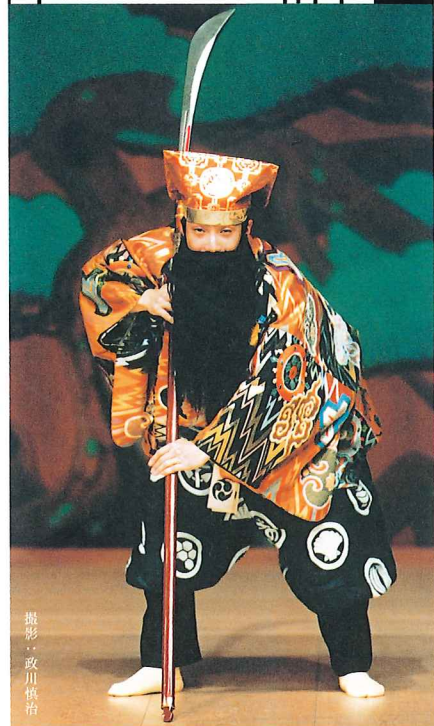
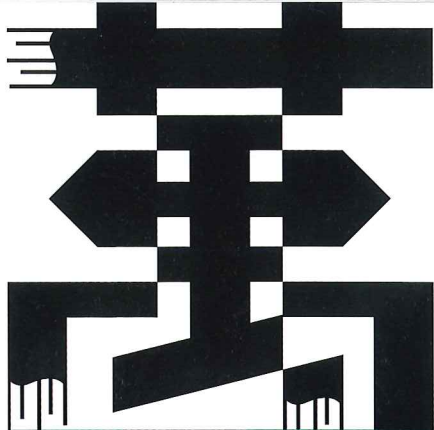
万作萬齋

狂言会

人間国宝野村万作と
野村萬齋による
華やかな舞台



本公演の配役は、山伏：深田博治、鬼葺：野村萬齋となります。



撮影・政川慎治



札幌市教育文化会館 開館40周年記念事業 野村万作萬齋狂言会

あくたろう

「悪太郎」「奈須与市語」「葺」

くさびら

平成29年

11月9日(木)

17時45分開場
18時30分開演

札幌市教育文化会館 大ホール

発売開始 8月10日(木)

チケット

全席指定 六、〇〇〇円 教文ホールメイト 五、五〇〇円

U-22席 三、〇〇〇円 観劇時22歳以下限定。教文プレイガイドのみ取扱い、身分証明書を提示してください。

※未就学児童入場不可 ※車いすご利用の方は前日までに教文プレイガイドにご連絡ください。

取扱場所

教文プレイガイド(011-271-3355)

大丸プレイガイド(南1西3)(011-221-3900)

道新プレイガイド(011-241-3871)

チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:459-253)

ローソンチケット(0570-0000-407 Lコード:11331)

主催／札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団) 共催／北海道新聞社 後援／札幌市、札幌市教育委員会

お問い合わせ先 札幌市教育文化会館 事業課

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目

TEL 011-271-5822

札幌市教育文化会館 開館40周年記念事業
野村万作萬齋狂言会

野村

MANSAKU
NOMURA
&
MANSAI
NOMURA

万作萬齋

狂言会

平成29年 11月9日(木) 17時45分開場
18時30分開演

「悪太郎」

悪太郎 乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。ところが、そこでもさんざん酒を飲み、よい機嫌になると、帰る道すがら寝込んでしまう。後をつけてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて僧形にし、「今後は南無阿彌陀仏と名づける」と言い渡して去る。さて、目を覚ました悪太郎は、「行き場の無いエネルギーを放出していた悪太郎ですが、「南無阿彌陀仏」と名づけられるのを境に舞台が一変します。狂言らしい笑いに溢れる前半と共に、悟りに至る後半もまた見どころです。

「奈須与市語」

奈須与市 源平による八島の合戦の時のこと。海上の平家方より、扇を立てた一艘の舟が漕ぎ出だす。源氏の大將義経は、後藤兵衛実基の献策により、弓の名手・奈須与市宗高を召し、扇の的を射ることを命じる。初めは固辞した与市だが、義経の厳命にやむなく従う。与市は馬を海中に乗り入れるが、波に揺れる小舟になかなか狙いが定まらない。そこで神明に祈りを捧げると、不思議と的一瞬静止する。すかさず放った矢は見事命中し、扇は夕暮れの波間にひらめき落ちる。源平両軍の賞賛の中、与市は大将義経の御感にあずかるのだった。

能「八島」の間狂言の特殊演出として演じられる語りで、奈須与市が扇の的を射た有名なエピソードを仕形話にしたもの。狂言の代表的な秘伝で、能とは別に単独でも演じられます。奈須与市・源義経・後藤兵衛実基などの人物を一人で演じ分ける華やかな仕形は、観る者を引き込まずにはいられません。

「茸」

茸 屋敷中に茸が生えて困っているという男に、茸退治を頼まれた山伏。もったいをつけつつ男の家に行くが、人ほどもある大きな茸にびっくり仰天！さっそく祈禱を始めるのだが、祈れば祈るほど茸は減るところかますます増え、山伏や男にいたづらをするものまで現れる。山伏は最後の気力を振り絞って祈るのだが…
笠をかぶり面をつけたカラフルな茸たちが、舞台上を所狭しと動き回ります。海外でも上演されることの多い、荒唐無稽な狂言の代表作です。

札幌市教育文化会館主催 野村家狂言公演 〈1980年～2013年〉

1980年
札幌市教育文化会館完成(大ホール)記念
「狂言」鑑賞の夕べ
『二人袴』『蝸牛』『六地藏』
出演/野村万之丞、野村万作、野村万之介、野村耕介、石田幸雄ほか

1985年
第3回教文雪まつり芸術劇場
《会場 教育文化会館大ホール》
『花子』『二人袴』『六地藏』
出演/野村万之丞、野村万作、野村万之介ほか

東西の狂言をたのしむ会
《会場 教育文化会館大ホール》
『武悪』『千切木』
出演/野村万之丞、野村万作、野村万之介、野村又三郎ほか

1989年
「釣狐 札幌公演」《会場 教育文化会館大ホール》
出演/野村万作、野村武司ほか

1991年
能・狂言「花と水」《会場 札幌芸術の森》
『蚊相撲』『桶の酒』
出演/野村万作、野村万之介、野村武司ほか

1996年
平成7年度札幌芸術劇場「北の都・狂言の宴」
《会場 教育文化会館大ホール》
『舟渡聲』『萩大名』 出演/野村万作、野村萬齋、月崎晴夫ほか

1997年
札幌市教育文化会館開館20周年記念
「狂言師三代」《会場 教育文化会館大ホール》
『朝猿』『業平餅』 出演/野村万作、野村萬齋、高田遼太ほか

2003年
札幌市教育文化会館開館25周年記念
「万作・萬齋狂言会 狂言三代」
《会場 教育文化会館大ホール》
『朝猿』『二人袴』 出演/野村万作、野村萬齋、野村裕基ほか

2005年
平成17年度札幌芸術劇場「札幌新能」
《会場 札幌芸術の森》
『舟渡聲』 出演/野村万作、高野和憲、深田博治

2007年
札幌市教育文化会館開館30周年記念
「札幌新能」
《会場 札幌芸術の森》
『蝸牛』 出演/野村万作、月崎晴夫、深田博治ほか

札幌市教育文化会館開館30周年記念
「万作・萬齋狂言会 狂言三代」
《会場 教育文化会館大ホール》
『重喜』『木六駄』
出演/野村万作、野村萬齋、野村裕基、野村万之介ほか

2013年
札幌市教育文化会館開館35周年記念
「野村万作・萬齋狂言会」
《会場 教育文化会館大ホール》
『金岡』『止動方角』 出演/野村万作、野村萬齋ほか

※都合により出演者・内容の一部が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

解説 高野 和憲

悪太郎

悪太郎

野村 萬齋

後見 伯父

石田 幸雄
野村 万作

休憩20分

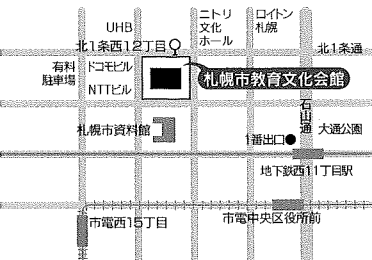
奈須与市語

野村 万作

茸

山伏 深田 博治

野村 萬齋
飯田 修一
中村 大太郎
内藤 晴夫
月崎 聡史
岡崎 修一
高野 和憲
野村 萬齋
鬼茸 澄元
後見



札幌市教育文化会館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目
お問い合わせ先
札幌市教育文化会館 事業課 (第2・4月曜日)
TEL 011-271-5822
http://www.kyobun.org/

地下鉄 東西線「西11丁目駅」1番出口から徒歩5分
市電 「西15丁目」から徒歩10分
JR札幌駅バスターミナルから、中央バス(円山経由小樽行)またはJR北海道バス(小樽行、手稲営業所、手稲弘山行)に乗り、
JRバス 中央バス 「北1条西12丁目」下車徒歩1分
※当会館にはお客様用の駐車場はございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。